

■温室効果ガス削減の目標

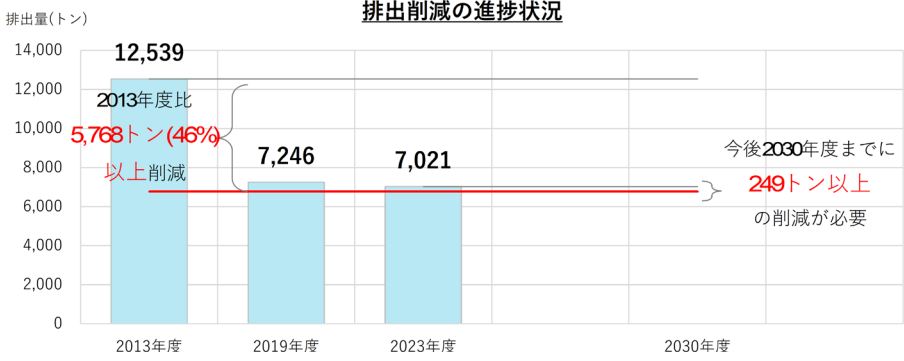
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (5,768トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

鹿児島空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比225トン減少の7,021トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後249トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)		
	2013年度	2019年度	2023年度
空港施設	11,545	6,203	5,937
空港車両	995	1,043	1,083
計	12,539	7,246	7,021

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.599、2019年度：0.347、2023年度：0.475

■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

鹿児島空港では、建築施設が増加しているが、2023年度の航空機の運行回数や旅客数はコロナ禍前 (2019年度) の9割程度に留まっており、更に脱炭素化施策の取組が行われていることを背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて減少した。

■脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none">➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用等、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none">➢ EV車両1台、ハイブリッド車両3台への更新が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)

(2024年度時点での協議会構成員からの報告をもとに作成)